

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和1年(2019)6月10日

No. 138

発行 高津啓洋

緑の会レダ日々の活動

レダの6月は冬に入ります。寒い日々が続き、南極からの風が吹いてきます。7月に入ると時によ

て積もりこそしませんが雪が降ったりします。

伊達勝見事務局長を中心に、近隣のインディヘナの人たち3人から5人の人が、植樹園の管理をしています。特に大切なことが、ポット苗による、苗木づくりです。パラグアイの南部と、アスンシオンとレダの3カ所で常時、2万本以上の苗木を育てています。また、植樹地の下草狩りと、つる草取りなど、広大な植樹地を管理するため

日曜以外は休む暇がありません。



モリンガの花が満開です



レダ育苗所



バンレイシの果実

愛情が一番です

レダに植えられている、木は愛情をたくさん受けています。一番多く植えられている木は、ニームとモリンガ(左の花)です。さらに美しい花を咲かせる。イペー(ピンク、白、黄色)やジャカラダ、チバト、ゴールドンシャワーなどです。



植樹後の対応で枯れ木などを交換

また果樹園には、マンゴを筆頭に、バンレイシ(釈迦頭)、グレープフルーツ、パパイヤ、バナナ、アボガド、レモン等です。



第一植樹園の入口



果樹園ではマンゴやミカンが鈴なりになります



仕事は重労働の連続です

[お知らせ] 7月27日(土) 国立オリンピック青少年センターで、夏の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和1年(2019)6月10日

No. 138

発行 高津啓洋

緑の会レダ日々の活動

レダの6月は冬に入ります。寒い日々が続き、南極からの風が吹いてきます。7月に入ると時によ

て積もりこそしませんが雪が降ったりします。

伊達勝見事務局長を中心に、近隣のインディヘナの人たち3人から5人の人が、植樹園の管理をしています。特に大切なことが、ポット苗による、苗木づくりです。パラグアイの南部と、アスンシオンとレダの3カ所で常時、2万本以上の苗木を育てています。また、植樹地の下草狩りと、つる草取りなど、広大な植樹地を管理するため日曜以外は休む暇がありません。



モリンガの花が満開です



レダ育苗所



バンレイシの果実

愛情が一番です



植樹後の対応で枯れ木などを交換

レダに植えられている、木は愛情をたくさん受けています。一番多く植えられている木は、ニームとモリンガ(左の花)です。さらに美しい花を咲かせる。イペー(ピンク、白、黄色)やジャカラダ、チバト、ゴールドンシャワーなどです。

また果樹園には、マンゴを筆頭に、バンレイシ(釈迦頭)、グレープフルーツ、パパイヤ、バナナ、アボガド、レモン等です。



第一植樹園の入口



果樹園ではマンゴやミカンが鈴なりになります



仕事は重労働の連続です

[お知らせ] 7月27日(土) 国立オリンピック青少年センターで、夏の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。